

【GRIガイドライン対照表】

「DNPグループ CSR報告書2012」は、GRI (= Global Reporting Initiative) の「GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン3.1」に準拠しています。自己評価による同ガイドラインの準拠レベルは「B」に該当します。

項目	指標	掲載頁
1. 戦略および分析		
1.1	組織にとっての持続可能性の適合性とその戦略に関する組織の最高意思決定者の声明	P1-2 環境報告書 P2
1.2	主要な影響、リスクおよび機会の説明	P7-15, 49-52 環境報告書 P5-6 アニュアルレポート、有価証券報告書
2. 組織のプロフィール		
2.1	組織の名称	P5 環境報告書 P3
2.2	主要なブランド、製品またはサービス	P6, 17-24 環境報告書 P4 ホームページ(製品・サービス)
2.3	主要部署、事業会社、子会社および共同事業などの、組織の経営構造	P5, 9 ホームページ(企業情報)
2.4	本社の所在地	P5 環境報告書 P3
2.5	事業展開している国の数および大規模な事業展開を行っているあるいは報告書中に掲載されているサステナビリティの課題に特に関連のある国名	環境報告書 P42 ホームページ(企業情報)
2.6	所有形態の性質および法的形式	有価証券報告書
2.7	参入している市場	有価証券報告書
2.8	組織の規模 ・従業員数 ・純売上高あるいは純収入 ・負債および株主資本に区分した総資本 ・提供する製品またはサービスの量	P5-6 環境報告書 P3-4
2.9	規模、構造または所有形態に関して報告期間中に生じた大幅な変更 ・施設のオープン、閉鎖および拡張などを含む所在地または運営の変更 ・株式資本構造およびその資本形成における維持および変更業務	有価証券報告書
2.10	報告期間中の受賞歴	P11-12, 15 環境報告書 P43
3. 報告要素		
報告書のプロフィール		
3.1	提供する情報の報告期間(会計年度)	P3 環境報告書 P1
3.2	前回の報告書発行日	2011年6月
3.3	報告サイクル(年次)	背表紙
3.4	報告書またはその内容に関する質問の窓口	背表紙
報告書のスコープおよびバウンダリー		
3.5	以下を含め、報告書の内容を確定するためのプロセス ・重要性の判断 ・報告書内のおよびテーマの優先順位付け ・組織が報告書の利用を期待するステークホルダーの特定	P7-15
3.6	報告書のバウンダリー(国、部署、子会社、リース施設、共同事業、サプライヤーなど)	P3 環境報告書 P1, 42, 44-45
3.7	報告書のスコープまたはバウンダリーに関する具体的な制限事項を明記する	P3 環境報告書 P1, 44-45
3.8	共同事業、子会社、リース施設、アウトソーシングしている業務および時系列でのおよび/または報告組織間の比較可能性に大幅な影響を与える可能性があるその他の事業体に関する報告の理由	有価証券報告書
3.9	報告書内の指標およびその他の情報を編集するために適用された推計の基となる前提条件および技法を含む、データ測定技法および計算の基盤	P5, 50-52, 59 環境報告書 P3, 16-19, 21, 24, 26-28, 30-31, 35, 37-42

項目	指標	掲載頁
3. 報告要素		
報告書のスコープおよびバウンダリー		
3.10	以前の報告書で掲載済みである情報を再度記載することの効果の説明およびそのような再記述を行う理由(合併/買収。基本となる年/期間、事業の性質、測定法の変更など)	-
3.11	報告書に適用されているスコープ、バウンダリーまたは測定方法に関する前回の報告期間からの大幅な変更	P3 環境報告書 P1, 16-17, 19, 26, 37-41
GRI内容牽引		
3.12	報告書内の標準開示の所在場所を示す表	本表
保証		
3.13	報告書の第三者保証要請に関する方針および現在の手順。CSR報告書に添付される保証報告書に記載がない場合は、適用される第三者保証の範囲と根拠について説明する。また、報告組織と保証提供者の関係についても説明する	P61 環境報告書 P46
4. ガバナンス、コミットメントおよび参画		
ガバナンス		
4.1	戦略の設定または全組織的監督など、特別な業務を担当する最高統治機関の下ある委員会を含む統治構造	P9
4.2	最高統治機関の長が執行役員を兼ねているかどうかを示す(兼ねている場合は、組織の経営におけるその役割と、このような人事になっている理由も示す)	アニュアルレポート、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書
4.3	単一の理事会構造を有する組織の場合は、最高統治機関における社外メンバーおよび/または非執行メンバーの人数を明記する	アニュアルレポート、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書
4.4	株主および従業員が最高統治機関に対して提案または指示を提供するためのメカニズム	ホームページ(IR情報)(法令と社会倫理の遵守)
4.5	最高統治機関のメンバー、上級管理職および執行役についての報酬(退任の取り決めを含む)と組織のパフォーマンス(社会的および環境的パフォーマンスを含む)との関係	アニュアルレポート、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書
4.6	最高統治機関が利害相反問題を回避を確保するために実施されているプロセス	P7-10
4.7	経済・環境・社会的テーマに関する組織の戦略を導くための、最高統治機関のメンバーの適性および専門性を決定するためのプロセス	アニュアルレポート、有価証券報告書
4.8	経済的、環境的、社会的パフォーマンス、さらにその実践状況に関して、組織内で開発したミッションおよびバリューについての声明、行動規範および原則	P7-15 環境報告書 P5-7
4.9	組織が経済的、環境的、社会的パフォーマンスを特定し、マネジメントしていることを最高統治機関が監督するためのプロセス。関連のあるリスクと機会および国際的に合意された基準、行動規範および原則への支持または遵守を含む	P7-15 環境報告書 P5-7
4.10	最高統治機関のパフォーマンスを、特に経済的・環境的・社会的パフォーマンスという観点で評価するためのプロセス	アニュアルレポート、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書
外部のイニシアティブへのコミットメント		
4.11	組織が予防的アプローチまたは原則に取り組んでいるかどうかおよびその方法はどのようなものかについての説明	P25-28, 31-32, 50 環境報告書、ホームページ(トップ画面)
4.12	外部で開発された、経済的、環境的、社会的憲章、原則あるいは組織が同意または受諾するその他のイニシアティブ	P10 環境報告書 P7
4.13	組織が以下の項目に該当するような、(企業団体などの)団体および/または国内外の提言機関における会員資格 ・統治機関内に役職を持っている ・プロジェクトまたは委員会に参加している ・通常の会員資格の義務を越える実質的な資金提供を行っている ・会員資格を戦略的なものとして捉えている	P10, 14 環境報告書 P7, 30
ステークホルダーの参画		
4.14	組織に参画したステークホルダー・グループのリスト	P10
4.15	参画してもらうステークホルダーの特定および選定の基準	P10
4.16	種類ごとのおよびステークホルダー・グループごとの参画頻度など、ステークホルダー参画へのアプローチ	P20-22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36, 38, 40, 42, 44-46, 54, 56-57, 60, 62 環境報告書 P20, 25, 33, 36

項目	指標	掲載頁
4. ガバナンス、コミットメントおよび参画		
ステークホルダーの参画		
4.17	その報告を通じた場合も含め、ステークホルダー参画を通じて浮かび上がった主要なテーマおよび懸案事項と、それらに対して組織がどのように対応したか	P9-15, 50
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標(: 中核指標)		
経済		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	アニュアルレポート、有価証券報告書、ホームページ
経済的パフォーマンス		
EC1	収入、事業コスト、従業員の給与、寄付およびその他のコミュニティへの投資、内部留保および資本提供者や政府に対する支払いなど、創出したおよび分配した直接的な経済的価値	有価証券報告書 環境報告書 P37-41
EC2	気候変動による、組織の活動に対する財政上の影響およびその他のリスクと機会	環境報告書 P37-41
EC3	確定給付(福利厚生)制度の組織負担の範囲	-
EC4	政府から受けた相当の財務的支援	-
市場での存在感		
EC5	主要な事業拠点について、現地の最低賃金と比較した標準的新入社員賃金の比率の幅	-
EC6	主要事業拠点での地元のサプライヤーについての方針、業務慣行および支出の割合	P31-32 ホームページ (サプライチェーンを通じた社会の発展への貢献)
EC7	現地採用の手順、主要事業拠点で現地のコミュニティから上級管理職となった従業員の割合	ホームページ(人間の尊厳と多様性の尊重)
間接的な経済的影響		
EC8	商業活動、現物支給、または無料奉仕を通じて、主に公益のために提供されるインフラ投資およびサービスの展開図と影響	P17-24, 35-36, 43-46, 49-60
EC9	影響の程度など、著しい間接的経済的影響の把握と記述	環境報告書 P37-41
環境		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	P8, 49-52 環境報告書 P7-14 ホームページ
原材料		
EN1	使用原材料の重量または量	P51 環境報告書 P16-17, 37-41
EN2	リサイクル由来の使用原材料の割合	-
エネルギー		
EN3	一次エネルギー源ごとの直接的エネルギー消費量	P51 環境報告書 P16-17, 20-21, 37-41
EN4	一次エネルギー源ごとの間接的エネルギー消費量	P51 環境報告書 P16-17, 20-21, 37-41
EN5	省エネルギーおよび効率改善によって節約されたエネルギー量	P53-56
EN6	エネルギー効率の高いあるいは再生可能エネルギーにもとづく製品およびサービスを提供するための率優先の取り組みおよび、これらの率優先取り組みの成果としてのエネルギー必要量の削減量	P51, 53-56 環境報告書 P20, 37-41
EN7	間接的エネルギー消費量削減のための率優先取り組みと達成された削減量	P51, 53-56 環境報告書 P20-21, 37-41
水		
EN8	水源からの総取水量	P51 環境報告書 P16-17, 37-41
EN9	取水によって著しい影響を受ける水源	-
EN10	水のリサイクルおよび再利用が総使用水量に占める割合	P52 環境報告書 P17, 27

項目	指標	掲載頁
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標(: 中核指標)		
環境		
生物多様性		
EN11	保護地域内あるいはそれに隣接した場所および保護地域外で生物多様性の価値が高い地域に、所有、賃借、または管理している土地の所在地および面積	-
EN12	保護地域および保護地域外で生物多様性の価値が高い地域での生物多様性に対する活動、製品およびサービスの著しい影響の説明	P59-60 環境報告書 P35-36
EN13	保護または復元されている生息地	-
EN14	生物多様性への影響をマネジメントするための戦略、現在の措置および今後の計画	P57-60 環境報告書 P33-36
EN15	事業によって影響を受ける地区内の生息地域に生息するIUCN国際自然保護連合のレッドリスト種(絶滅危惧種)および国の絶滅危惧種リストの数。絶滅危険性のレベルごとに分類する	-
排出物、廃水および廃棄物		
EN16	重量で表記する、直接および間接的な温室効果ガスの総排出量	P52 環境報告書 P16-19, 37-41
EN17	重量で表記する、その他の関連ある間接的な温室効果ガス排出量	P52 環境報告書 P16-19, 37-41
EN18	温室効果ガス排出量削減のための率先取り組みと達成された削減量	P52, 53-56, 59-60 環境報告書 P16-21, 30-31, 35-36, 37-41
EN19	重量で表記する、オゾン層破壊物質の排出量	P52 環境報告書 P17-18, 22, 37-41
EN20	種類別および重量で表記するNOx、SOxおよびその他の著しい影響を及ぼす排気物量	P52 環境報告書 P17-18, 22, 24, 37-41
EN21	水質および放出先ごとの総排水量	P52 環境報告書 P17, 23, 37-41
EN22	種類および廃棄方法ごとの廃棄物の総重量	P52 環境報告書 P17-18, 25-26, 37-41
EN23	著しい影響を及ぼす漏出の総件数および流出量	P50 環境報告書 P12
EN24	バーゼル条約付属文書I、II、IIIおよびIVの下で有害とされる廃棄物の輸送、輸入、輸出あるいは処理の重量および国際輸送された廃棄物の割合	-
EN25	報告組織の排水および流出液により著しい影響を受ける水界の場所およびそれに関連する生息地の規模、保護状況および生物多様性の価値を特定する	-
製品・サービス		
EN26	製品およびサービスの環境影響を緩和する率先取り組みと、影響削減の程度	P59-60 環境報告書 P28-33, 35-36
EN27	カテゴリー別の、再生利用される販売製品およびその梱包材の割合	環境報告書 P26-27
遵守		
EN28	環境規制への違反に対する相当な罰金の金額および罰金以外の制裁措置の件数	-
輸送		
EN29	組織の業務に使用される製品、その他物品および原材料の輸送および従業員の移動からもたらされる著しい環境影響	環境報告書 P21, 31
総合		
EN30	種類別の環境保護目的の総支出および投資	環境報告書 P37-41
労働慣行とディーセントワーク		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	P8, 11-15 ホームページ
雇用		
LA1	雇用の種類、雇用契約および地域別の総労働力	P5 ホームページ(人々の尊厳と多様性の尊重)
LA2	従業員の総離職数および離職率の年齢、性別および地域による内訳	ホームページ(人々の尊厳と多様性の尊重)

項目	指標	掲載頁
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標（：中核指標）		
労働慣行とディーセントワーク		
雇用		
LA3	主要な事業ごとの、派遣社員またはアルバイト従業員には提供されないが正社員には提供される福利	-
LA15	性別ごとの育児休暇後の復職および定着率	P14 ホームページ(人々の尊厳と多様性の尊重)
労使関係		
LA4	団体交渉協定の対象となる従業員の割合	有価証券報告書
LA5	労働協約に定められているかどうかも含め、著しい業務変更に関する最低通知期間	-
労働安全衛生		
LA6	労働安全衛生プログラムについての監視および助言を行う公式の労使合同安全衛生委員会の対象となる総従業員の割合	ホームページ(安全で活力ある職場の実現)
LA7	地域別の、傷害、業務上疾病、損失日数、欠勤の割合および業務上の総死者数	P15 ホームページ(安全で活力ある職場の実現)
LA8	深刻な疾病に関して、労働者、その家族またはコミュニティのメンバーを支援するために設けられている、教育、研修、カウンセリング、予防および危機管理プログラム	P15 ホームページ(安全で活力ある職場の実現)
LA9	労働組合との正式合意に盛り込まれている安全衛生のテーマ	ホームページ(安全で活力ある職場の実現)
研修および教育		
LA10	従業員のカテゴリー別の、従業員あたり年間平均研修時間	-
LA11	従業員の継続的な雇用適性を支え、キャリアの終了計画を支援する技能管理および生涯学習のためのプログラム	ホームページ(人々の尊厳と多様性の尊重) (安全で活力ある職場の実現)
LA12	定常的にパフォーマンスおよびキャリア開発のレビューを受けている従業員の割合	ホームページ(安全で活力ある職場の実現)
多様性と機会均等		
LA13	性別、年齢、マイノリティグループおよびその他の多様性に関する指標に従った、統治体(経営管理職)の構成およびカテゴリー別の従業員の内訳	ホームページ(人々の尊厳と多様性の尊重)
LA14	従業員のカテゴリー別の、基本給与の男女比	-
人権		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	P8, 11-15 ホームページ
投資および調達慣行		
HR1	人権条項を含むあるいは人権についての適正審査を受けた、重大な投資協定の割合とその総数	-
HR2	人権に関する適正審査を受けた主なサプライヤーおよび請負業者の割合と取られた措置	P31-32 ホームページ (サプライチェーンを通じた社会的責任の推進)
HR3	研修を受けた従業員の割合を含め、業務に関連する人権的側面に関わる方針および手順に関する従業員研修の総時間	-
無差別		
HR4	差別事例の総件数と取られた措置	-
結社の自由		
HR5	結社の自由および団体交渉の権利行使が著しいリスクに曝されるかもしれないと判断された業務と、それらの権利を支援するための措置	P31-32 ホームページ (サプライチェーンを通じた社会的責任の推進)
児童労働		
HR6	児童労働の事例に関して著しいリスクがあると判断された業務と、児童労働の防止に貢献するための対策	P31-32 ホームページ (サプライチェーンを通じた社会的責任の推進)
強制労働		
HR7	強制労働の事例に関して著しいリスクがあると判断された業務と、強制労働の防止に貢献するための対策	P31-32 ホームページ (サプライチェーンを通じた社会的責任の推進)

項目	指標	掲載頁
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標 (: 中核指標)		
人権		
保安慣行		
HR8	業務に関連する人権の側面に関連する組織の方針もしくは手順の研修を受けた保安要員の割合	-
先住民の権利		
HR9	先住民の権利に関連する違反事例の総件数と、取られた措置	-
評価		
HR10	人権の調査および/もしくは影響の評価を必要とする業務の比率と総数	-
苦情の解決		
HR11	人権に関する苦情申し立ての数および、正式な苦情対応システムを通じて対処・解決された苦情の数	-
社会		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	P8, 11-15 ホームページ
コミュニティ		
SO1	地域コミュニティとの取り決め、影響評価、開発計画などの履行をとまなう事業(所)の比率	P50, 57-58 環境報告書 P12, 34
SO9	地域コミュニティに及ぼす可能性の高い、または実際に及ぼしているネガティブな影響のある事業(所)	P50 環境報告書 P12
SO10	地域コミュニティにネガティブな影響を及ぼす可能性の高い、または実際に及ぼしている事業(所)で実施されている防止策や軽減策	P50 環境報告書 P12, 28-36
不正行為		
SO2	不正行為に関連するリスクの分析を行った事業単位の割合と総数	P12, 27-28
SO3	組織の不正行為対策の方針および手順に関する研修を受けた従業員の割合	P12, 27-28
SO4	不正行為事例に対応して取られた措置	-
公共政策		
SO5	公共政策の位置づけおよび公共政策開発への参加およびロビー活動	P47 環境報告書 P28, 30
SO6	政党、政治家および関連機関への国別の献金および現物での寄付の総額	-
非競争的な行動		
SO7	非競争的な行動、反トラストおよび独占的慣行に関する法的措置の事例の総件数とその結果	-
遵守		
SO8	法規制の違反に対する相当の罰金の金額および罰金以外の制裁措置の件数	-
製品責任		
マネジメントアプローチ		
	マネジメントアプローチ	P8-9, 11-15 ホームページ
顧客の安全衛生		
PR1	製品およびサービスの安全衛生の影響について、改善のために評価が行われているライフサイクルのステージ、ならびにそのような手順の対象となる主要製品およびサービスのカテゴリーの割合	P37-38 ホームページ (製品・サービスの安全性と品質の確保)
PR2	製品・サービスの安全衛生の影響に関する規制および自主規範に対する違反の件数を結果別に記載	-
製品およびサービスのラベリング		
PR3	各種手順により必要とされている製品およびサービス情報の種類とこのような情報要件の対象となる主要な製品およびサービスの割合	環境報告書 P28-32 ホームページ(環境保全と持続可能な社会の実現)
PR4	製品およびサービスの情報ならびにラベリングに関する規制および自主規範に対する違反の件数を結果別に記載	-
PR5	顧客満足度を測る調査結果を含む、顧客満足に関する実務慣行	-
マーケティング・コミュニケーション		
PR6	広告、宣伝および支援行為を含むマーケティング・コミュニケーションに関する法律、基準および自主規範の遵守のためのプログラム	P8 ホームページ(グループビジョン)
PR7	広告、宣伝および後援を含むマーケティングに関する規制および自主規範に対する違反の件数を結果別に記載	-

項目	指標	掲載頁
5. マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標(: 中核指標)		
製品責任		
顧客のプライバシー		
PR8	顧客のプライバシー侵害および顧客データの紛失に関する正当な根拠のあるクレームの総件数	-
遵守		
PR9	製品およびサービスの提供および使用に関する法規の違反に対する相当の罰金の金額	-